

すこやかちゃん



大地ちゃん (平成16年6月1日生)
 両親／伊藤伸人・直美さん〔後草〕
 「優しくて強い、お父さんのような男の子になるぞ！」



友翔ちゃん・翔太ちゃん
 (平成15年5月31日生・平成14年4月13日生)
 両親／石毛洋・典子さん〔琴田〕
 「とつても仲良し！」



駆流ちゃん (平成17年3月3日生)
 両親／小島邦之・絵美さん〔新町〕
 「うちのブランコ大好き！
 サンライズでもいっぱい遊ぶんだ」

*** すこやかちゃんを募集しています ***

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班（〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070）へ。
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 — 旭モノ語り — 第十六回

坊ノ場遺跡出土泥メンコ

坊ノ場遺跡の出土品から、もう一つご紹介です。前回は縄文時代の土器を取り上げましたが、今回は「遊び」がテーマです。

三十歳以上の方は、子どものころに紙のメンコで遊んだ経験がありませんか。紙メンコは明治二十年代に登場、子どもたちに人気を博しました。スポーツ選手や力士が描かれた角メンコ、アニメのキャラクターが登場する丸メンコなど、厚くかたい紙を素材に作られていました。

このメンコのルーツとなるのが江戸時代に作られた泥メンコです。もともと大人が本物の銭をつかって遊んでいたものが、子ども向けの玩具として、享保年間につくられたのがはじまりといわれています。このとき人の顔をかたどっていたので「面子（メンコ）」という名が付いたようです。型取りした粘土を素焼きにしたもので、約2cmのものが主流です。

遊び方はいたって簡単。地面に線を引き、互いに投げあつてその位置で勝敗を決め、メンコを取り合います。遊び方には諸説あり、もう一つの遊び方として、数個のメンコを地面にばらまき、その中の一つを空中に放り投げ、落ちてくる間に、地面に残ったメンコを



全て拾い上げることができると勝ち、というのもあるようです。

恵比寿、大黒などの縁起物や人物、動植物などをかたどったレリーフ状のもの、文字や家紋の入った円盤状のものなど、モチーフも形状もさまざま。坊ノ場遺跡からは、お地蔵様と力士の顔をかたどったものが見つかっています。

江戸中期に登場した泥メンコは江戸後期に大流行、子どもたちをとりこにしました。その熱中ぶりに、幕府による禁令が出されたことも…。いつの時代も、こうした遊びに夢中になる子どもの姿に変わりはないようです。

※参考文献 『図説江戸考古学研究事典』（柏書房）

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

編集後記

通勤の途中で学校の前を通ると、子どもたちが車で送られてくる姿を多く見かけます。私が学校に通っていたころは、嵐の日でも合羽を着て自分の足で通いましたし、車で送ってもらうなんて想像も出来ませんでした。でも、今は仕方ないのでしよう。子どもが犯罪に巻き込まれる事件が、連日のようにマスコミを賑わしていますから…。かつての日本は治安の良さが誇りだったはず。一日も早く、子どもたちが安心して過ごせる社会を取り戻したいものです。(い)

暮らしのカレンダー

- 3日(金) 文化の日
黒虎相撲 (10:00～ 袋太田神社)
- 5日(日) いきいき旭・産業まつり
(10:00～ 旭スポーツの森公園)
- 12日(日) ふるさとまつり・ひかた
(9:30～ 干潟中学校グラウンド)
- 18日(土) 地区体育祭 (豊畑)
- 23日(木) 勤労感謝の日
海上産業まつり
(9:00～ 海上コミュニティ運動公園)